

公共建築物における木材利用の推進について

(広島県農林水産局林業課)

1 趣 旨

平成22年10月に施行された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」を踏まえて策定した「広島県公共建築物等木材利用促進方針」に基づき、県が整備する建築物等の木造化等に向けた取組を進めており、設計及び整備状況等について、とりまとめを行なった。

2 木造化等の状況

- (1) 県営事業については、平成24年度から設計段階で木造・木質化に取り組んだことにより、平成25年度から全ての施設で木造・木質化が実施又は計画されている。
- (2) 県補助事業については、年度によってばらつきが見られるが、木造・木質化率共に低い水準に留まっている。
- (3) 市町営事業については、平成24年度までに全ての市町が木材利用方針を策定し、平成25年度から木造・木質化に向けた取組に着手したが、設計において、木造・木質化共に低い水準に留まっている。

表1 県営事業における木造・木質化状況

区 分			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (計画)	
県 営 事 業	設 計	木 造	木造対象件数	13	1	2	3	3
			木造件数	13	1	2	3	3
			木造化率 (%)	100%	100%	100%	100%	100%
		木 質	木質対象件数	15	4	5	5	6
			木質件数	15	4	5	5	6
			木質化率 (%)	100%	100%	100%	100%	100%
	実 施	木 造	木造対象件数	5	5	9	1	3
			木造件数	5	5	9	1	3
			木造化率 (%)	100%	100%	100%	100%	100%
		木 質	木質対象件数	5	8	20	5	4
			木質件数	5	8	20	5	4
			木質化率 (%)	100%	100%	100%	100%	100%

表2 県補助事業における木造・木質化状況

区 分			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (計画)	
県 補 助 事 業	実 施	木 造	木造対象件数	13	14	9	14	17
			木造件数	6	5	3	9	7
			木造化率 (%)	46%	36%	33%	64%	41%
		木 質	木質対象件数	23	36	14	16	17
			木質件数	10	26	1	3	4
			木質化率 (%)	43%	72%	7%	19%	24%

表3 市町営事業における木造・木質化状況

区 分			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (計画)	
市 町 営 事 業	設 計	木 造	木造対象件数	57	39	39	28	18
			木造件数	15	16	8	8	5
			木造化率 (%)	26%	41%	21%	29%	28%
		木 質	木質対象件数	75	55	58	46	26
			木質件数	24	14	20	16	8
			木質化率 (%)	32%	25%	34%	35%	31%

3 課題等

- (1) 県営事業
設計段階から取り組んでいるため、木造・木質化が定着している。
- (2) 県補助事業
依然として、発注者（建築主）の多くが、木造建築物は「耐火性能が低い」、「コストが高い」等の先入観・抵抗感を持つ傾向にある。
- (3) 市町営事業
市町の木材利用方針に基づく全庁的な取組が進んでいないことと併せて、設計・発注を担う部署においても、木材の調達先や調達期間、価格など木材に関する情報が不足し、木造・木質化が進んでいない。

4 今後の対応

- (1) 県営事業
引き続き、木造・木質化に向けた取組を進める。
- (2) 県補助事業
引き続き、発注者である民間事業者が集まる会議に参加し、公共建築物等の木造・木質化をPRするリーフレット等を活用して、木造・木質化のメリットなどの意識啓発を図るとともに、平成28年7月に設立した「ひろしま木造建築協議会」（以下、「協議会」という。）が中心となって、発注者に対し、木造・木質化を提案するなど、先入観・抵抗感を払拭する取組を粘り強く進めていく。
- (3) 市町営事業
市町的设计・発注を担う部署との意見交換会を通じて、コスト削減の事例や木材調達に関する情報提供を行うとともに、協議会が開催する現地研修会への参加を促すなどにより、木造・木質化の働きかけを強化する。